

ビジネスパーソンの「SNS」に関する調査 2019

～ どうする？会社の人とSNSでつながるか問題～

現代、SNSは誰もが使う時代となりました。SNSでつながることはコミュニケーションのひとつの形とも言えますが、ビジネスパーソンは勤務先の人とSNSでつながることに対してどのように考えているのでしょうか。また、つながっている人は一体どのくらいいるのか、つながっている場合、誰とつながっていることが多いのでしょうか。

今回はビジネスパーソン1000人に調査をし、職場におけるSNSに関する意識や、つながりの実態にせまります。

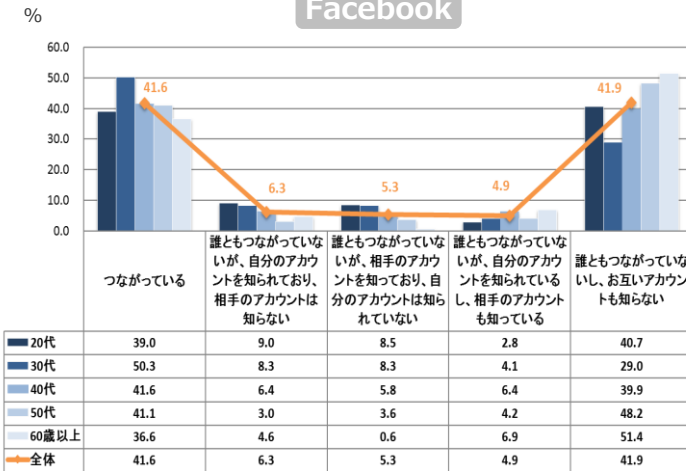
【調査結果】

勤務先の人と「つながっている」ではFacebookの41.6%が最多。次いでInstagramで36.1%。最も低いのはTwitterで27.4%。

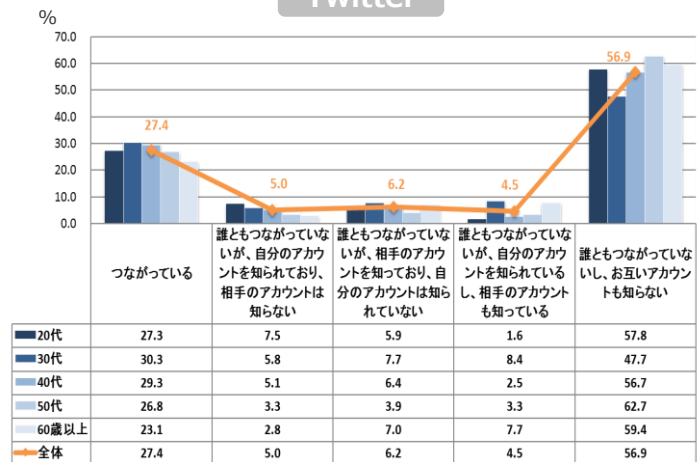
年代別に見ると、Facebookで勤務先の人と「つながっている」と答えた人の割合が最も高いのは30代の50.3%。同様にTwitterでも30代の30.3%が最多。Instagramでは20代の41.4%が最も高い。

【勤務先の人とつながっているか】

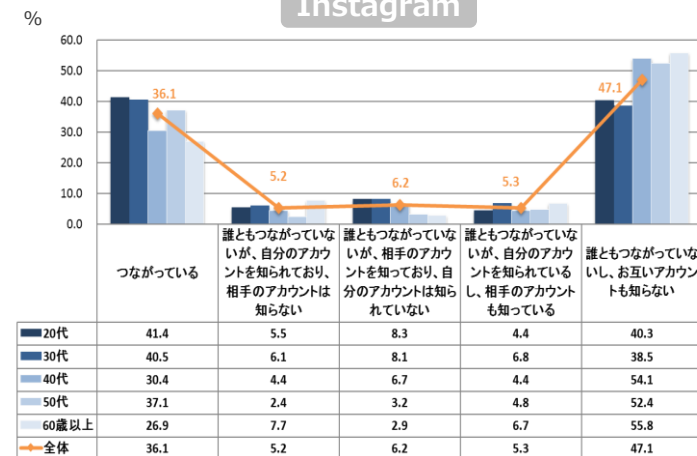
Facebook



Twitter

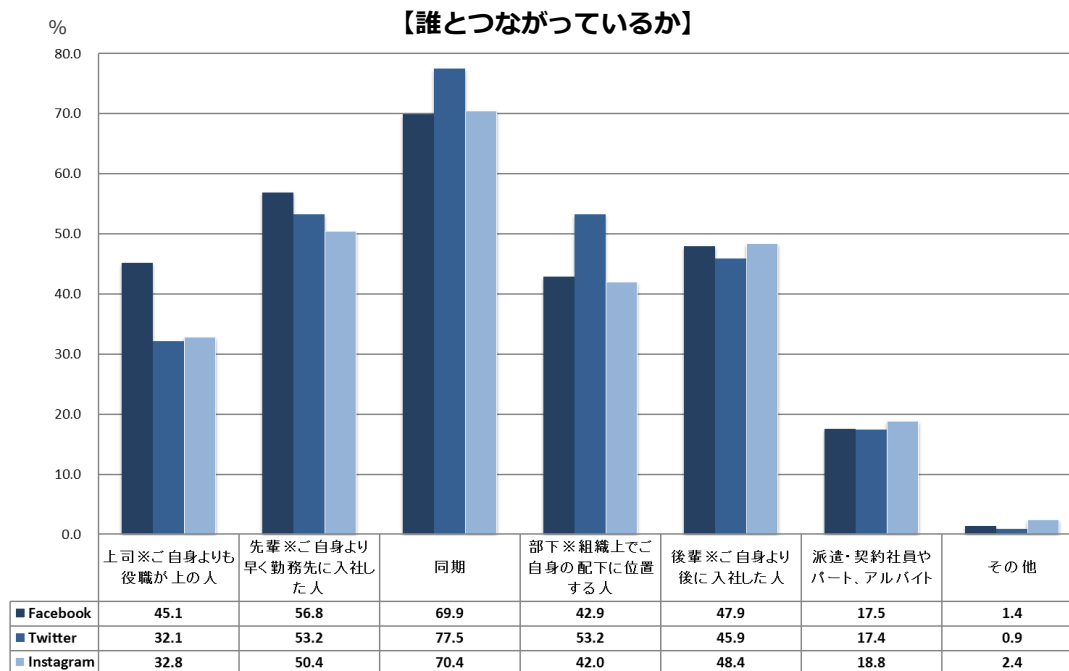


Instagram



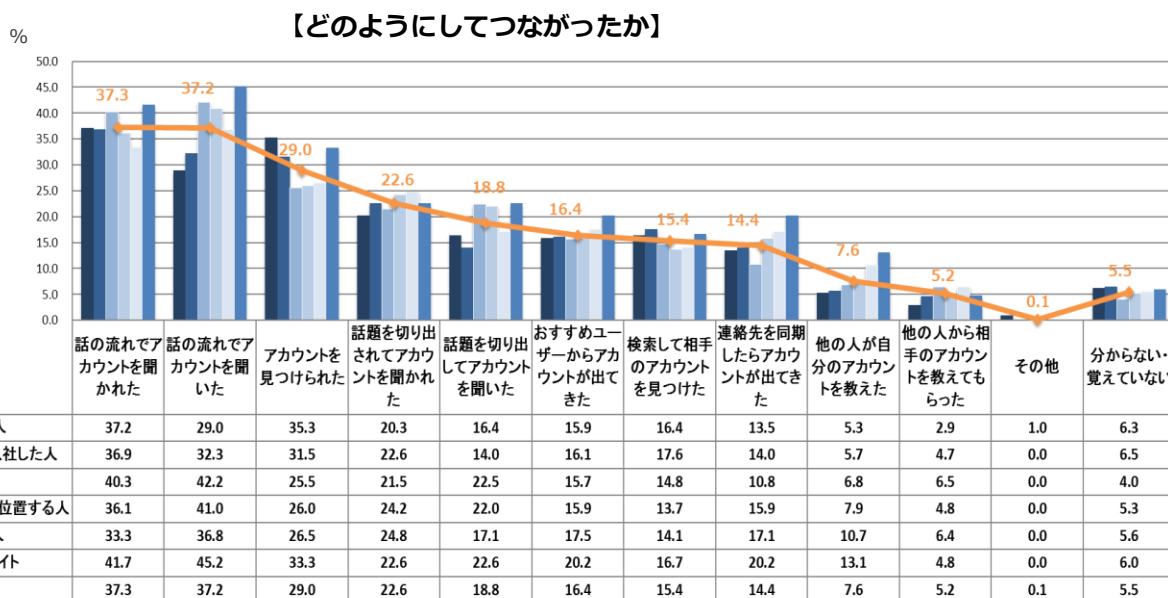
つながっている相手は、どのSNSでも「同期」が最も高く、「上司」や「部下」の割合は低い。

Facebookでは「同期」69.9%に次いで、「先輩」56.8%、「後輩」47.9%の順で割合が高い。Twitterでは「同期」77.5%、次いで「先輩」と「部下」が同等の割合で53.2%。Instagramでは「同期」70.4%、「先輩」50.4%、「後輩」48.4%の順で高い。



上司や先輩とつながるきっかけは「話の流れでアカウントを聞かれた」の割合が最も高く、同期や部下、後輩、派遣・契約社員やパート、アルバイトでは「話の流れでアカウントを聞いた」が最多となる。

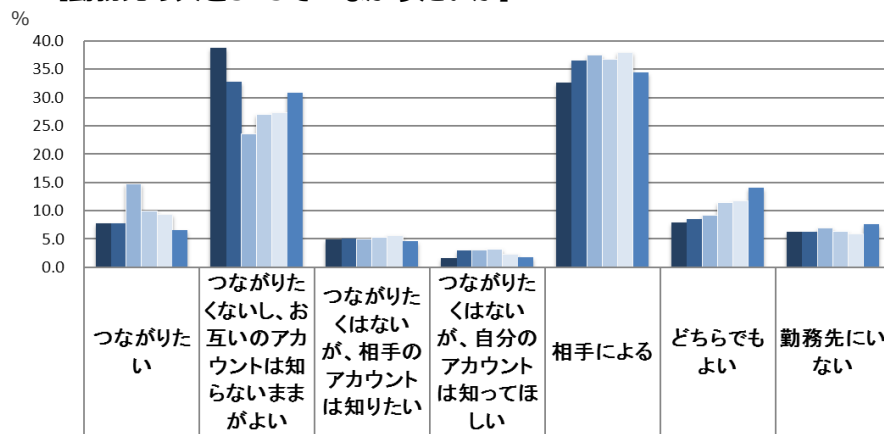
全体では「話の流れでアカウントを聞かれた」が37.3%で最も高く、「話の流れでアカウントを聞いた」37.2%とほぼ同等の割合となった。次いで「アカウントを見つけられた」29.0%の割合が高い。



勤務先の人とSNSでつながりたいかは「つながりたくないし、お互いのアカウントは知らないままがよい」と「相手による」が顕著に高い。“上司”とは「つながりたくないし、お互いのアカウントは知らないままがよい」が38.8%で最も高い。

「つながりたい」で最も高いのは“同期”で14.8%。次いで“部下”で10.0%、“後輩”で9.3%となった。また「つながりたくないし、お互いのアカウントは知らないままがよい」では最多の上司に次いで“先輩”32.8%、“派遣・契約社員やパート、アルバイト”30.9%となった。

【勤務先の人とSNSでつながりたいか】

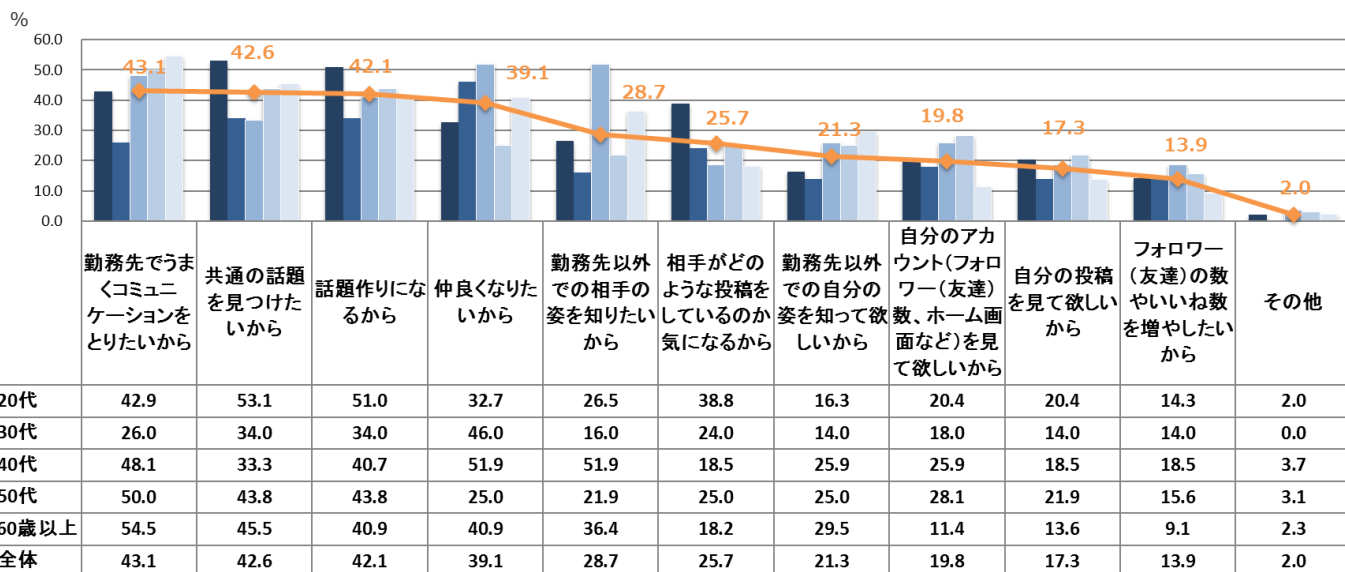


■ 上司※ご自身よりも役職が上の人	7.8	38.8	4.9	1.7	32.6	8.0	6.3
■ 先輩※ご自身より早く勤務先に入社した人	7.8	32.8	5.0	2.9	36.6	8.5	6.3
■ 同期	14.8	23.6	5.0	3.0	37.6	9.1	6.9
■ 部下※組織上でご自身の配下に位置する人	10.0	27.1	5.2	3.2	36.7	11.5	6.3
■ 後輩※ご自身より後に入社した人	9.3	27.3	5.5	2.3	38.0	11.7	5.8
■ 派遣・契約社員やパート、アルバイト	6.6	30.9	4.6	1.8	34.4	14.1	7.7

つながりたい理由で最も高いのは「勤務先でうまくコミュニケーションをとりたいから」で43.1%。次いで「共通の話題を見つけないから」42.6%、「話題作りになるから」42.1%となった。

年代別に見ると、20代では「共通の話題を見つけないから」が最多。30代では「仲良くなりたいから」、40代では「仲良くなりたいから」の他「勤務先以外での相手の姿を知りたいから」、50代・60歳以上では「勤務先でうまくコミュニケーションをとりたいから」が高くなった。他にも「情報共有」のためといった回答があった。

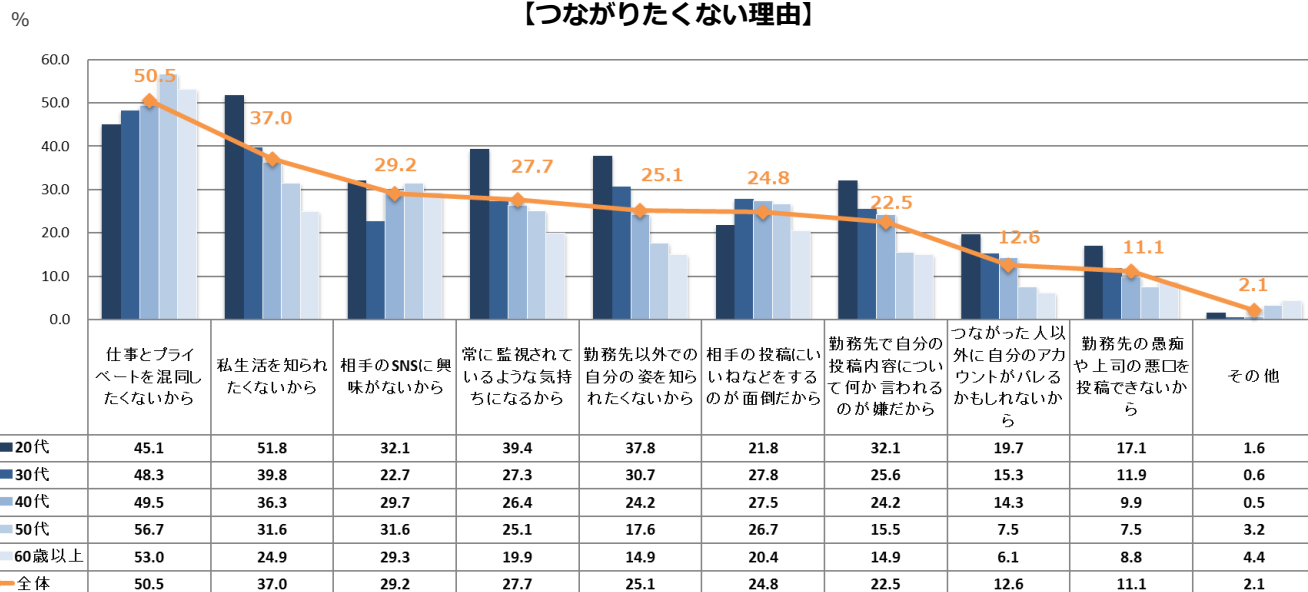
【つながりたい理由】



つながりたくない理由は「仕事とプライベートを混同したくないから」が最多で50.5%。ほとんどの項目で、20代が他の年代に比べて回答した人の割合が最多となった。

20代は「私生活を知られたくないから」が最も高いのに対し、他の年代は「仕事とプライベート混同したくないから」が最も高い。ほとんどの理由で、20代が最も高く、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向。

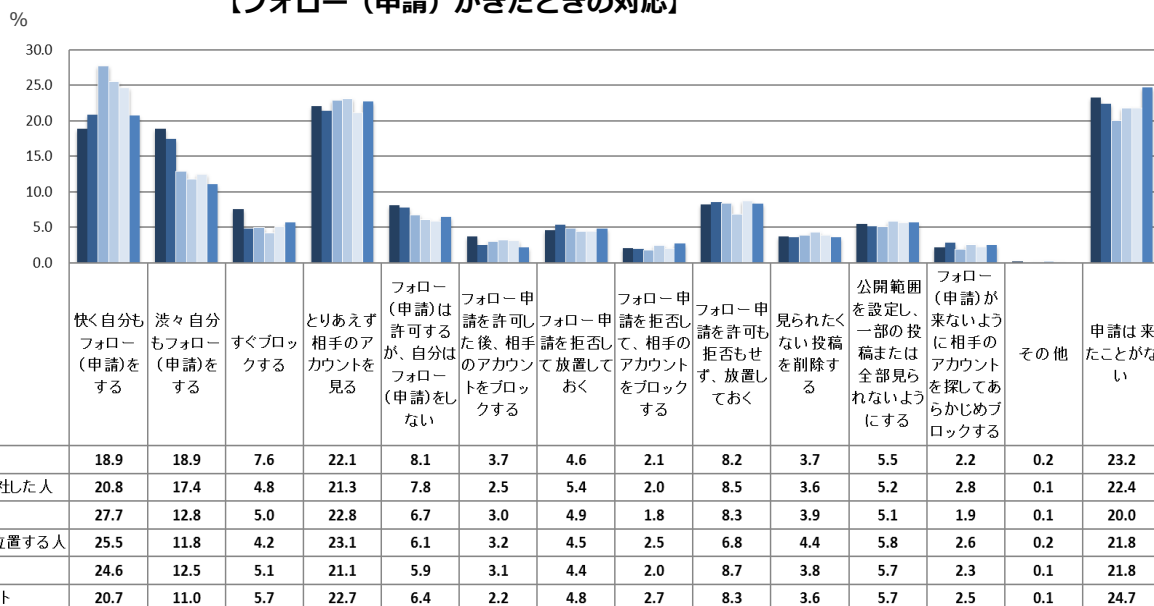
【つながりたくない理由】



フォロー（申請）が来たときには「快く自分もフォロー（申請）をする」と「とりあえず相手のアカウントを見る」が高い。また、「とりあえず相手のアカウントを見る」では相手による顕著な差は見られない。

「快く自分もフォロー（申請）をする」で最も高いのは“同期”で27.7%。また、最も低いのは“上司”で18.9%。また「すぐブロックする」では最も高いのは“上司”で18.9%。最も低いのは“部下”で4.2%となった。

【フォロー（申請）がきたときの対応】



● 調査結果から

調査から、ビジネスパーソンはSNSに関して勤務先の人と「つながりたくない」と思っている人の方が多く、実際つながっていない人が多数だということが分かりました。その傾向は20代で強く、若い人ほど上司や先輩とSNSでつながることに抵抗を感じているようです。

つながりたくない理由としては、「私生活を知られたくないから」や「常に監視されているような気持ちになるから」の割合が、他の年代と比較して20代で高い結果となりました。SNSに馴染みのある世代だからこそ、プライバシーへの意識が高いとも考えられます。

つながりたい理由では、「勤務先でうまくコミュニケーションをとりたいから」や「共通の話題を見つきたいから」などの回答が多く、SNSでつながることをコミュニケーションのきっかけの一つとして捉えている傾向があります。

一方、フォロー（申請）がきたときの対応として、どの相手にも「快く自分もフォロー（申請）をする」が上位にランクインしており、いざ実際に申請が来た場合にはさほど嫌な思いはしないというのが本音かもしれません。

年代や役職による考え方の違いを踏まえた上で、職場のコミュニケーション活性化にSNSを上手く利用してみたいかがでしょうか。

調査概要

調査方法	インターネットリサーチ
調査地域	首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県） 東海圏（愛知県、岐阜県、三重県） 関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）
調査対象	20歳～69歳の男女ビジネスパーソン（マクロミルモニタ会員）
割付方法	エリア（首都圏、東海圏、関西圏）× 年代（20,30,40,50,60代）を均等に回収 / 合計1,000サンプル
調査日時	2019年9月25日（水）～2019年9月26日（木）
調査機関	株式会社ジェイアール東海エージェンシー 株式会社マクロミル

その他調査項目：
 ・現在勤務されている勤務先の従業員数
 ・勤務先の人とSNSでつながっている場合どのような人とつながっているか
 ・勤務先の人とつながったとき、お礼のメッセージや挨拶などは送るか

＜調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先＞
 株式会社ジェイアール東海エージェンシー 企画マーケティング部 担当：大橋・矢崎
 TEL: 03-6688-5009 e-mail: ayaka-yazaki@jrta.co.jp